



みどり野

学校経営理念 「私たちは、子どもたちが自立し、協働して社会に貢献できる人間になるための基盤を育成します。」
学校教育目標 1 めあてをもって勉強する子 2 なかよくたすけあう子 3 じょうぶでがんばる子

令和6年が明けました

お正月のんびりしている中、地鳴りとともにゆっくり家が揺れると、突然能登半島での大地震のニュースが飛び込んできました。220名を超える方が命を落とし、未だに2万人近くの方々が不自由な避難所生活を送っています。始業式では全員で黙祷を捧げて3学期始業式をスタートしました。

《他喜力》

子供たちにとって3学期は、卒業や進級に向けて、また一年間のまとめとして、とても大切な期間になります。そこで、始業式では他喜力を発揮して「よい自分」でいることは「よいクラス」を、さらには「よい学校」をつくることに繋がると話し、自分にできることを精一杯やろうと励ましました。子供たちには、他喜力について、『ものごとがうまくいかない人は、自分を喜ばすことしか考えていない。逆に成功している人は他人を喜ばすことをいっつも実践しているため、豊かで幸せな人生を手に入れることができる。この力を「他喜力」という。』という話をしています。その基盤となるのが、「笑顔」「あいさつ」「ありがとう」と話し、子供たちの意識が高まっています。

《運がいい人》

さらに、他喜力を発揮して「運がいい人」になろうという話をしました。「運がいい人」の特徴は、明るく前向きで、よくよい人せず挨拶やありがとうが自然にでき、いきいきと笑顔で過ごしています。そして、友達が集まると話しかけ、力を貸すことも少なくありません。第1で、自分から引き寄せることができる心掛けです。



元気に挨拶運動を行う企画委員たち

今年も笑顔があふれる中村小学校を目指し、そのために自分ができることを精一杯やろうと励ましました。3月の卒業式、修了式で子供たちがどんな表情を見せてくれるのか、楽しみにしたと思います。保護者の皆様、地域の皆様、子供たちの笑顔のために、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

真岡市理科研究発表会

1月11日に第75回真岡市理科研究発表会が開催されました。6年生の後半から7名が、研究名を「水たまりにできる波紋の研究」として、2学期の後半から研究の準備を進めてきました。発表の準備は、多岐にわたる科学的な好奇心を追求し、比較考察を繰り返すことと、小学生らしいすばらしい内容で、特選発表と市代表発表の栄誉を受けました。

